

日銀の利下げ決定についての会頭コメント

アメリカ連邦準備理事会の利下げなど各国の金融政策とも連動し、機動的に利下げを判断されたことを評価したい。また、景気悪化局面において、資金供給策を追加されるなど、速やかに景気の下支えに踏み切ったことを歓迎したい。

しかしながら、日米政策金利の逆転による円高が、景気悪化に拍車をかけていることが懸念されており、利下げ幅については、もう少し大胆さがあっても良かったのではないかと感じる。

急激な円高は、京都経済のけん引役である輸出関連企業の業績に大きく悪影響を与えるので、ドル売り・円買いに歯止めがかかることを切望している。

平成20年12月19日

京都商工会議所

会頭 立石 義雄